

## 派遣報告書（報告者； 浦塚 雅人 ）

大会名	第46回U12全九州バスケットボール鹿児島大会
開催地	ビーラインスポーツパーク始良 蒲生おおくすアリーナ 鹿児島市吉田文化センター 郡山体育館
日時	令和8年2月21日（土）～22日（日）
担当ゲーム	男子予選 上田小（沖縄県）vs 松元（鹿児島県）
クルー	CC：浦塚雅人（大分県B級）U1：山田拓実（佐賀県B級）
Pre-Game Conference	
<input type="checkbox"/> チームのスカウティング <input type="checkbox"/> タイマー、ショットクロックの確認 <input type="checkbox"/> Tはしっかりと追従を行い、スペースを見に行く <input type="checkbox"/> NEW Lは残ってTを助ける <input type="checkbox"/> UFの確認	
Post-Game Conference	
<input type="checkbox"/> マージナルの幅が広すぎる <input type="checkbox"/> TFを取り上げたことはナイスチャレンジだったが未然に防げなかったのか、取り方も感情が入ったように見えるので注意する <input type="checkbox"/> コーチとのコミュニケーションの取り方 <input type="checkbox"/> 点差が空いて控え選手が出てきた時にもう一度テンポセットを行う	
担当ゲーム	男子予選 バスケットハウス（熊本県） VS ツインスターズ（福岡県）
クルー	CC:淵上聡彦（鹿児島県B級） VS 浦塚雅人（大分県B級）
Pre-Game Conference	
<input type="checkbox"/> チームのスカウティング <input type="checkbox"/> ショットを打った時の手のヒットを見落とさない <input type="checkbox"/> トラベリングを見逃さない <input type="checkbox"/> 手の使い方	
Post-Game Conference	
<input type="checkbox"/> リバウンド争いで手が絡んでいるのが見えなかったので位置取りを工夫する <input type="checkbox"/> 緊迫したゲームだったのでいらない笛を入れなかったのは良かった <input type="checkbox"/> プライマリーのところで起こったものが鳴らせなかった <input type="checkbox"/> ショットクロック、タイマーの管理	
担当ゲーム	女子交流戦（予選2位） 小林（宮崎県）VS 楓Forest（熊本県）
クルー	CC:小原幸己（鹿児島県B級） VS 浦塚雅人（大分県B級）
Pre-Game Conference	
<input type="checkbox"/> 3番エリアの協力 <input type="checkbox"/> チームのスカウティング <input type="checkbox"/> 出場選手が3Qまでに10人以上出ているのかの確認	

Post-Game Conference

- Lの位置取り
- ルーズボールの取り合い時の接触は本当に大丈夫だったか
- タイマー、ショットクロックの管理

今大会に参加しての感想など

今大会、3試合担当させて頂きました。初日には、松本氏（九州ブロック長）、上山氏（鹿児島県S級）に試合を見て頂くことができ、試合後反省をして頂きました。何点か、ご指摘頂きましたが、その中でも「マージナルの幅が広い」とご指摘を受け、コンタクトの責任、事実、影響をもっと細かく確認する必要があるなと感じました。その為にも、T、Lの位置取りの工夫や長くプレーを見る為に予測を行うといったところを新たな課題として研鑽を積んで行きたいです。

また、ベンチとのコミュニケーションといったところもまだまだ課題が残っているのでその部分も今後、研鑽を積んでいければと思います。

最後に今回の派遣にあたり、大分県バスケットボール協会の皆様、審判委員会の方々をはじめ、職場、家族の理解を頂きました。また、大会運営をしていただきました鹿児島県バスケットボール協会の皆様に心からお礼申し上げます。今回の派遣で得たものを還元していき、自らの課題をもとに研鑽を積んでいきたいと思っています。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。